

大学コンソーシアム石川主催

文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」『学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築』

第4回障がい学生支援セミナー

時：2013年6月24日（月） 15時00分～16時30分（受付14時30分～）

所：石川県政記念しいのき迎賓館 3階 セミナールームB（金沢市広坂2-1-1）

（大学コンソーシアム石川加盟高等教育機関に対してTV会議システムによる配信を行います。5機関まで接続可能ですので、ご希望の機関は大学コンソーシアム石川事務局までご連絡をお願いします）

協力：社会福祉法人石川県聴覚障害者協会・石川県聴覚障害者センター

手話通訳による情報保障があります。

講演 「大学とハローワークとの連携～発達障がいがあると思われる学生への就職支援～」

司会 青野 透（大学コンソーシアム石川教職員研修専門部会長・金沢大学教授）

講師 金寺 幸子（ヤングハローワーク金沢 統括職業指導官）

八尾 章子（ハローワーク金沢 就職支援ナビゲーター 発達障害者支援分）

指定発言者 濱田 里羽（金沢大学 大学教育開発・支援センター 特任助教）

趣旨 文部科学省より各高等教育機関に本年一月、「障がいのある学生の修学支援に関する検討会報告（第一次まとめ）について」が通知された。これには、就職支援等に関して、「障害のある学生の就職に関する支援については、就職が障害者の自立や社会参加にとって極めて重要であることから、ハローワークをはじめとする労働関係機関や地域の社会福祉施設、NPO等と連携してきめ細やかな就職支援を行うことが必要である」、「特に発達障害のある学生については、学生個々の障害の程度や本人の希望により、一般の雇用と障害者雇用のいずれが望ましいか、慎重に検討することが必要であることから、その具体的な支援方策等について、今後検討を進めていく必要がある」と記されていた。発達障がいやその傾向のある学生の就職支援について、本人の能力や心情を踏まえながら複数の機関が連携して対応することが望まれている。

一方で、発達障がい傾向のある学生への支援の実際は、本人の希望と実際の適性、家族の期待、関係機関の見立てが必ずしも一致せず、対応に苦慮することがしばしばある。また、就職にあたっては、コミュニケーション能力の困難さから、面接試験を通過できなかつたり、就職できても失敗やトラブルを重ね、自信を失ってしまうケースも少なくない。

そこで、今回は若者の就職支援を実際に行っているハローワーク金沢より、お二人の講師の先生をお招きする。発達障がいのある学生の就職にはどのような困難があり、どのような対応をされているのかご報告いただくとともに、高等教育機関に期待される支援のあり方についてもご示唆いただく。

参加お申込み 「第4回障がい学生支援セミナー申込」とタイトルに記載の上、本文に（1）大学等機関名、（2）所属部局名、（3）お名前（一般の方々はお名前だけでも結構です）を記載して、  
mail:kaminashi@ucon-i.jp（担当：上梨）まで送信願います。当日参加も受け付けております。

※しいのき迎賓館の駐車場をご利用の場合は、最初の30分のみ 無料となります。

問い合わせ先 大学コンソーシアム石川事務局 TEL：076-223-1633

「学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築」に参加する石川県内19高等教育機関  
金沢大学（代表校）／北陸先端科学技術大学院大学／石川県立大学／石川県立看護大学／金沢美術工芸大学／金沢医科大学／金沢学院大学／金沢工業大学／金沢星稷大学／金城大学／北陸大学／北陸学院大学／金沢学院短期大学／金城大学短期大学部／小松短期大学／金沢星稷大学女子短期大学部／北陸学院大学短期大学部／石川工業高等専門学校／金沢工業高等専門学校